

謹賀新年



1月7日

令和6年魚沼市消防出初式

CONTENTS

- ◆臨時会・定例会・補正予算・議案賛否の状況 … 2～3
- ◆一般質問 …… 4～11
- ◆常任・特別委員会報告 …… 11～13
- ◆聞かせて！あなたの声「Voice」 …… 14
- ◆中学生議会を開催しました …… 15～17
- ◆行政視察報告 …… 18
- ◆議会報告会結果報告 …… 19
- ◆市民の声・議会TOPICS・あとがき …… 20





議長 森島守人

新年の挨拶



皆様、あけましておめでとうございます。
 魚沼市議会を代表し、新年のごあいさつを申し上げます。
 皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。
 昨年は、国内では3年以上に渡った新型コロナウイルス対策は「有事」から「平時」の対応に転換し、
 コロナ禍前の賑わいを少し取り戻した一年でありました。

一方、魚沼市では、南本町商店街で大火災が発生しましたが、現在は、「南本町商店街火災再生プロジェクト」が立ち上がり、市民を上げて新たなまちづくりに取り組んでいるところであります。被災された皆様にお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈り致すところであります。

さて、本年は 市政施行20周年となります。

市の新たな玄関口「魚沼インター」が誕生します。全国的なブランドである「魚沼」の知名度を活かし、多くの来訪者を迎えられる輝かしい年となることが大いに期待されます。

今年の干支は「辰」であります。今年の抱負に重ねて言えば、「竜頭蛇尾」に終わることなく、「竜が水や雲、翼を得るように」持てる力を存分に発揮して、飛躍する一年にしていきたいものです。

市議会といたしましては、市民の皆様が安全・安心で充実した社会生活が送れるよう、そして、「魚沼市に住んで良かった」と言われるような地域づくりを目指し、議論を進めてまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年1月1日、災害のあった能登半島地震に見舞われた皆様にお見舞申し上げますとともに、これ以上災害のないことを願い、皆様の益々のご健勝とご多幸、そして魚沼市のさらなる発展をご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

第2回臨時会・第4回定例会報告

令和5年第2回臨時会が10月31日に開催され、市長提出の令和5年度一般会計補正予算（第5号）を可決しました。

令和5年第4回定例会が12月1日から12月21日の21日間の会期で開催されました。議会初日に、一般会計補正予算(第6号)をはじめ8件の補正予算等を可決しました。12月5日と6日には、15人の議員が一般質問を行いました。最終日には、各委員会付託の議案、市長より追加提案の議案すべてが可決となりました。

第2回臨時会補正予算

	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容
令和5年度魚沼市一般会計補正予算(第5号)	348億6,070万円	2億4,860万円	351億930万円	南本町大規模火災に係る被災者支援に関する予算の追加及び、令和5年産米の高温被害緊急支援等

第4回定例会補正予算

	補正前の額	補正額	計	主 な 内 容	
令和5年度魚沼市一般会計補正予算(第6号)	351億930万円	15億8,590万円	366億9,520万円	国の補正予算に伴う低所得世帯に対する給付金、灯油購入費助成費、ふるさと寄附金及び積立金・返礼品に要する経費及び繰入金、人事異動及び新潟県人事院勧告による給与等の調整	
令和5年度魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	31億1,940万円	710万円	31億2,650万円	一般会計繰入金等の計上・追加に伴う財源の調整、前年度繰越金や過年度分の保険給付額などが確定したことに伴う精算等	
令和5年度魚沼市介護保険特別会計補正予算(第2号)	53億6,980万円	270万円	53億7,250万円	介護保険制度の改正に対応するためのシステム改修に係る経費の追加	
令和5年度魚沼市工業団地造成事業特別会計補正予算(第1号)	3億7,900万円	100万円	3億8,000万円	今後の造成工事に向けての開発行為変更許可申請に係る経費の追加	
令和5年度魚沼市病院事業会計補正予算(第1号)	収益的収入	9億2,000万円	3,160万円	9億5,160万円	魚沼市医療公社に交付する政策的医療交付金分、指定管理者補助金として市立病院に係るエネルギー価格高騰対策支援事業補助金の追加
	収益的支出	8億6,000万円	3,160万円	8億9,160万円	病院の空調設備等の不具合による修繕費、指定管理施設エネルギー価格高騰対策支援事業補助金の追加
	資本的収入	4億5,500万円	400万円	4億5,900万円	医療機器更新に要する経費等
	資本的支出	5億900万円	400万円	5億1,300万円	機器の故障による入替
令和5年度魚沼市ガス事業会計補正予算(第1号)	収益的収入	21億9,800万円	0円	21億9,800万円	国が行う都市ガス料金の値引き支援が延長、再延長による当該期間に係る値引き相当額としての減額、ガス価格激減緩和対策事業費補助金に値引き額と同額を追加
	収益的支出	21億4,800万円	380万円	21億5,180万円	給与改定及び人事異動に伴う追加
	資本的支出	1億7,400万円	100万円	1億7,500万円	給与改定及び人事異動に伴う追加



浅井 宏昭

内田市政への市民からの声



問 市内の温泉利用料金は燃料の高騰などをを受け利用料金が上がり、年金暮らしの高齢者は利用しにくくなっている。60歳以上の方を対象に利用料金が割引になる優待パスを検討するべきと考えるがどうか。

答 市営だから安くするということではない。

問 検討の余地はないのか。

答 優待パスは現在考えていない。

問 魚沼インターチェンジへの名称変更に対するアンケートの総配布数3,000に対し、70%の市民が反対・無関心なのに市は名称変更を押し進めてきた。これにより多くの市民が市長の独断で名称変更を進めていると考えているが市長の見解は。

答 アンケートを配布して、未回収の53%の方々が興味がないとは思っていない。その方々も含めて魚沼インターを使って一緒に取り組んでいきたい。

問 ここ数年、市職員等の不祥事や事故がメディアに出ることが多くなっており、職員の気の緩みが目立つと市民からよく意見をいただく。内田市政になってからの2020年12月以降の不祥事、事故等の件数は。

答 令和3年度は横領1件、飲酒運転以外の交通事故2件、不適切な事務処理等9件、公物等損壊16件の合計28件。令和4年度は給与等の不適正受給1件、不適切な事務処理等4件、公物等損壊12件の合計17件。令和5年度はハラスメント行為1件、飲酒運転以外の交通事故1件、不適切な事務処理等20件、公物等損壊14件の合計36件。

問 最近では市民からの通報で有機センターアームロール車の過積載が発覚している。この件は組織の在り方に問題があるのではないか。

答 ふん尿を回収する際に、農家の方が直接コンテナに入れていて、ふん尿の状態で重さが変わるため。

問 市は畜ふんの回収実績や計量伝票を管理していると思うが、それを見れば過去の事例も含め、日々行われてきた過積載は一目瞭然であるが、なぜ今まで黙認してきたのか。

答 今まで何もしてこなかったわけではなく定期的に指導をしていたが、コンテナに積む加減が難しいので来年度予算に向けて徹底した対策がとれるようにしたい。



佐藤 肇

小出病院に医療職員用宿舎整備を



問 災害時の危機管理や研修医の宿舎として、また、職員の福利厚生、人材確保のためのツールとして、病院直近にいつでも使える宿舎が必要である。民間アパート借り上げで対応できないか。

答 病院内に仮眠室が4室整備されている。また、研修医の宿泊場所として市内のホテル等を活用している。施設を整備するより維持管理経費が発生することを考えるとホテル等を活用するほうが有効と考えるため職員宿舎の整備は考えていない。

医療施設、機器の更新計画を問う

問 堀之内医療センターとして、老朽化した旧堀之内病院を耐震改修もしないまま使い続けている。早急に建て替えが必要であり、次年度予算で設計に着手する考えはないか問う。

答 ミニ特養の整備と並行して、堀之内医療センターの改修等も医療公社の意見を聞きながら検討をするため、実施設計はその後と考えている。

問 小出病院入院棟は県から無償譲渡を受けて使っているが、老朽化が顕著で建て替えには相当の年数要する。今後、どのような更新計画か問う。

答 近い将来、大規模な施設の改修や建て替えが必要になることは認識しているが、大規模な施設建設の予定がありこれらの事業の進捗や財政状況も考慮した中で検討する。

問 診療で使う検査機器等は日々改良がなされ、安全性が高く、低被ばく、高解像度の機器が求められている。患者や医師の負担軽減、診療業務支援、リスク回避の観点からも随時更新が必要である。MRIなど数億円もする高額な医療機器の更新はどのような計画なのか問う。

答 医療公社において、機能の低下や性能の不足、保守及び修理の可否などを考慮し、年次計画を定め整備、更新をする。



佐藤 敏雄

本年産米の品質低下 対応策について問う



問 本年産米の異常な品質低下等による大幅な収益減対策として、今後の稲作農家の支援策について、以下提案する。

- 1 大幅に値上がりし、高止まっている肥料代等の経費削減のため、次年度も肥料等高騰対策事業の継続
- 2 新たな農業機械更新等に導入助成等の支援策
- 3 特別栽培米・農業の6次産業化等で付加価値を付けた商品開発
- 4 地球温暖化対策で稲作の中干効果を「Jークレジット」制度を活用し、脱炭素を掲げる企業等に売る仕組みの指導
- 5 ふるさと納税制度のさらなる活用。田植え・稲刈りツアー等の商品化で交流人口・関係人口の拡大からコシヒカリの販売強化

答 1 営農経営支援の継続は必要と考えている。
2 本年度は新たにスマート農業支援など含めて対応している。

3 J Aと連携して魚沼ブランド推奨品等付加価値を高めるよう対応していく。

4 県・J A等と連携して検討していく。

5 ふるさと納税については各団体と連携しさらに推進していく。

只見線沿線の歯科診療所廃院について

問 只見線沿線唯一の歯科医院が、本年末に廃院になると聞いている。要因は本部との経営方針の相違とのことだが、誠に残念な話だ。開院から34年間、地域の信頼が厚く多くの患者が頼りにしている施設であり、先生は継続治療を望んでおり、対応策を早急に検討して欲しい。

答 12月末での先生の退職については承知しており、現在、運営本部の意向を確認中で、今後の方針を確認している。



横山 正樹

只見線を核にした魚沼 市の活性化対策について問う



只見線が全線開通して1年が経過した。只見線を利用したお客さんは、小出駅に年間2万人以上が下車して小出まちなかに訪れている。只見線を利用したお客さんの滞在時間に応じた「おもてなしプラン」や「また訪れてみたい」と思えるような企画を実施し、経済効果を生み出す策が必要と考える。

問 市長は、「只見線を核にした魚沼市の活性化策」についてどのような構想を描いているのか、見解を問う。

答 只見線は、通勤通学も含めて大変重要な観光路線と認識している。現在、新潟県と一緒に全体を含めたブランドデザインを作成中であり、JRに交渉に行く予定である。JRにブランドデザインを示すときに一緒に示したい。

問 小出駅から沿線地域や市内周遊ができるレンタルサイクルの仕組みづくりを考えているか。
答 小出駅での実施は、自転車の設置場所や受付方法など、管理や運

用面において解決しなければならぬことが多々あるものの、実施に向け努めていく。

問 魚沼市には、訪れてきたお客さんに魚沼市の宝物をアピールする場がない。小出郷図書館の活用として魚沼の情報発信をする「魚沼情報館」を設置し、小出駅から魚沼情報館、そして生涯学習センターと南本町への動線をつくり、小出まちなかの活性化を図ることは重要である。魚沼情報館の設置と只見線を核にした官民協働の仕組みづくりが重要と考えるが、その見解を問う。

答 議員提案のとおり、小出まちなかエリアのにぎわい創出が、市の活性化・産業振興につながると考えられる。今年度始めたワークショップ等で様々なにぎわいづくりに向けたアイデアを提案いただいた。小出郷図書館の図書館機能が生涯学習センターへ移転後の利活用の具体的な策の検討をしている。そこでの利活用方法、その検討過程の中で、官民一体となった連携の中でどう取り組んでいくかを検討している。具体的な部分は、これからの課題となる。

一般質問 (通告順)



遠藤 徳一

小出地区南本町の復興の在り方について問う



小出地区南本町の大規模火災では、関係者をはじめ市も大切な財産を失った。現在、関係者で組織した再生プロジェクトを中心に復興に向かっている。中にはこの地での再建を断念する声もあるとのこと。ここは現在建設中の「生涯学習センター」を核に、にぎわいづくりを目論んでいるエリアで、空洞化は避けなければならぬ。市はこの地区の今後あるべき姿を明確にし、政策的にこの区画の有効利用を図るべきだ。

各種団体のほか、地元の事業者や地域住民との幅広い連携が必要である。多様な関係者間の橋渡しをしながらいきいきと責任を持ってまちづくりに取り組むことができるような人材配置が必要である。専門知識を持った外部人材の活用も視野に入れながら復興及び地域活性化に向けた取組を進めていく。

既に他地区で経営されている方も含め店舗誘導による配置換え等積極的に行うべきではないか。

空洞化が生じた場合でも、民有地である以上、土地所有者の今後の方針が定まっていけない現状において、住み替えや新たな店舗の誘導などの仕組みづくりは大きな課題である。まずは、土地所有者の意向を尊重したうえで、市としてどのようなことができるか研究していく。

市内外を問わず特色のある仕事、スキル等を持ち合わせた人材を募集してこの区画を新規起業育成の場として、また、若者が集い研究し挑戦する場として利用できないか。

南本町商店街再生プロジェクトとの連携協力体制はどうなるか。新たなまちをおこす原動力としてこのプロジェクトの役割は重要だ。市との窓口的な役割のみならず、自立も視野に入れ起業人材育成や立ち上げ支援等中間支援組織的役割を持たせないか。

当面は、義援金、寄附金を被災者に配分することが大きな役割であると認識しており、自立に向けた支援は考えていない。

密集地の防災力が課題と考えられる。居住誘導区域の防災指針にどう反映させるか。

居住誘導区域における水害対策を検討しており、立地適正化計画の見直しも進めている。



関矢 孝夫

令和6年度予算編成方針を問う



令和6年度の財政見通しは昨年度と変わらぬ状況を見込んでいるが、一般会計予算規模は令和5年度と同額程度を考えているか。

令和6年度は、発行最終年度となる合併特例債を活用する事業を多く見込んでいることから予算案の規模は、令和5年度に比較して大きくなるものと考えている。

力強い地域経済の構築、ブランド力の向上で地場産農林水産物の生産効率とあるが、具体的にどのような事業を考えているか。

農業用機械等の整備支援、スマート農業技術や機械等の導入支援等により営農継続を可能とし、ブランド農産物の産地を守り、ブランド力の向上と力強い地域経済の構築を図っていく。

例年と違い「通年予算の積算と弾力的な年間予算」としたのは、どのような思いか。

限られた財源の中で、常にコスト意識を持ち、前例踏襲によることなく、市民ニーズを踏まえた事業の選択を行い、必要かつ、やむを得ないもの以外は、年度途中での補正予算での対応とならないよう方針として示した。

内田市長にとって、任期中最終年度の予算編成となるが、魚沼市の将来のまちづくりについて、強い思いを込める施策は何か。

これからの本市を担う若い世代が安心して暮らすことができるように「人への投資」を優先した予算編成を考えている。これまで行ってきた結婚・子育てへの支援はさらに手厚く行う考えであり、地元を離れている方がUターン就職を希望する際には、帰って来やすくなるように本人に対しても就職先の企業に対しても支援を行う。



星 直樹

観光誘客について問う



問 枝折峠の「滝雲」が11月上旬に全国放送のテレビ放映で取り上げられたことにより、訪れる人が爆発的に伸びた。シーズンを終えて課題と改善点は何か。

答 滝雲の見頃は早朝であり、その後の立ち寄り先が開店していない等、市内滞在時間を伸ばすことが引き続き課題であり、宿泊事業者や飲食店等と連携した取組を強化していく。また、他の季節でも秋とは違う魅力発信を行い、分散による混雑解消と来訪機会の増加を図っていく。

問 予想以上の反響で枝折峠駐車場にあるトイレが足りず問題になったようだ。駐車場敷地内にあるトイレは繁忙期に閉鎖していた。本来このトイレは、期間としていつからいつまで使用できるのか。

答 トイレは、太陽光発電で処理するバイオマストイレを使用し、例年、降雪期前に太陽光発電設備を10月末までに撤去している。今年度限り、当初シャトルバスの運行も10

月末までだったが、県道の通行止めが11月6日となったため、急遽シャトルバスの運行を11月5日まで延ばし代替措置として簡易トイレを設置した。

問 毎年紅葉が終了する11月上旬から年末にかけて市内の来訪客は減少する傾向にある。来年の11月1日には市政誕生20周年、そしてインターチェンジ名称変更という魚沼市にとっては大きなイベントが待ち受けている。このタイミングで飲食店、宿泊業者にキャンペーンなどを行う考えはあるか。

答 令和6年度の当初予算の中で具体的な案ができたなら説明する予定で、現在そこに向け検討している。

問 前回市長は台湾からの受入れを積極的に言うか否かを答弁した。現状はどうなっているのか。

答 現時点で、具体化とまで至っていないが、引き続き県と連携を密に図り実現に向け取り組んでいく。



高野 甲子雄

柏崎刈羽原発の再稼働は認めるな



問 国は、原発の再稼働に大きく踏み込んだ。新潟県は、検証委員長を再任せず、3つの検証委員会を閉じた。柏崎刈羽原発は、旧小出庁舎の西方40kmの位置にあり、年間80%が西風といわれる気象条件にある。事故が起きれば逃げる事ができないほど近くの原発である。特に、地盤の悪い原発で中越地震、中越沖地震で被害を出している原発である。

市長は、柏崎刈羽原発の危険性に理解を持ち、再稼働には反対との立場と考えるがどうか。

答 原発の再稼働は、市民の生命と財産を守るべく、安全性の確立を最優先に考え判断すべきと考える。現時点では、私自身がそのことを判断するだけの情報を十分に持ち合わせていないため賛否を表明する状況にはないものと考えている。

養豚農家等に対する臭い対策について

問 豚舎等の臭い問題には住宅地が広がったためもあると思うが、臭気に対する苦情は要望書も含めて現状はどうか。

答 畜産臭気に関する苦情は、令和元年度をピークに減少傾向にあるが、地域要望も含め、年間数件の苦情がある。

問 市としてどのような対策をとっているのか。

答 原因者に対して苦情内容を通知し、臭気測定や面談、訪問を行い、必要に応じて県及び市の畜産関係部署と連携し指導や改善の申入れを行っている。

問 臭気対策における市からの支援を考えられないか。

答 現在、消臭の薬剤支援を実施している。



星野みゆき

教育環境の充実について問う



教員の病気休暇・病気休職について

問 現在の病気休暇、病気休職者の教員数はどうか。

答 1カ月を超える者が6名いる。

問 教員の病気休暇が増える中、どのような対策を講じているか。

答 オンラインによるストレスチェックを実施し、気づきと対処を促している。日頃の職場環境の把握と改善、職員の相談対応を管理職が行うとともに管理指導主事等への相談の実施。外部相談の窓口についての案内など。

スクールバスについて

問 距離的条件の基準値の現状はどうか。

答 地区の中心地や集会所から地区ごとの距離とし、小学生2・5キロ冬期は2キロ。中学生3・5キロ冬期は3キロ以上となっている。

問 基準値を集落センターではなく、一人一人の自宅に見直す考えはないか。

答 バスの配車の関係もあり、児童数が減ったといっても学区が狭くなったわけではないので、現時点では考えていない。

問 地理的条件でスクールバスが認められているのは、どのような条件で何力所あるか。

答 国道の交通量、道幅の狭さ、冬期間歩道がなく車道を通過するなど危険防止などの理由で設定している。現状では、小学校では、堀之内1、広神2、中学校では、堀之内1、広神2、守門1カ所となっている。



佐藤 達雄

原発事故時対応の県との協議状況を問う



問 県の広域避難計画では、事故時に近隣自治体から多数の避難者を受け入れることになっているが、冬場の事故時には市への汚染が予測される。避難は受け入れるべきでなく、逆に市民の県境を越えた避難が必要になる。この見直しは行われたか。

答 県に要望しているが、課題も多く、今のところ具体的な進捗が見えない状況であり、本市が置かれている現状を説明しながら、引き続き要望していく。

問 安定ヨウ素剤が、保健所に配備されていることは承知しているか。服用タイミングが重要だが、どう配布するか。

答 県を通し保健所への配備を確認できた。UPZ範囲内の自治体と同様に、希望者に事前配布ができるように、県を通じて国へ要望したい。

部活動地域移行に伴う、放課後のスポーツの場

問 放課後に時間ができ、友だち同士で体育施設等でスポーツを楽しんでいる生徒がいる。このスポーツの場を保証するため、施設使用料は無償、あるいは格安とすべきだ。

答 中学生が放課後、仲間といろいろな運動することには、教育委員会としても応援したい。今現在、地域クラブ活動推進委員会が設置され、制度設計も含め検討していきたい。

生涯学習センターを核としたまちづくり

問 まちなかエリアにぎわいづくりワークショップの取組みアイデアで、中核となるものは何か。

答 空き店舗活用の起業が増えることによりシャッターが開き、商店街の雰囲気が変わる。新規創業者の支援制度、小出郷図書館の新たな活用策を含め、空き店舗活用に結びつく取組を展開したい。

問 市も部局の垣根を超えた人材を募り、市民も若手事業者も加わり、知恵を出し合う取組が必要だ。

答 行政が一方的に進めるのではなく、市民と一緒に考えて、それぞれの役割を持たせながら進めたい。地域プロジェクトマネージャーや地域おこし協力隊などの活用も視野に入れ、賃貸できる店舗を見つけ具体化した。

一般質問 (通告順)



大桃 俊彦

市長の災害時の役割と行政の管理体制について問う



南本町大規模火災や相次ぐ職員の不祥事の管理体制において、市長は役割と行動についてどう思考しているのか見解を問う。

問 南本町大規模火災が魚沼市災害対策本部条例に規定する災害と認識しているか。

答 魚沼市災害対策本部条例に基づき災害対策本部は設置しなかったものの、全庁体制の下で対応にあたった。

問 火災周辺の消火栓の基数と稼働した基数は何基か。稼働ができないう消火栓があったと聞かすが、防火水槽は稼働したか。

答 消火栓8基のうち、水圧維持のため3基の稼働、防火水槽は40トンを使用した。

問 自然水利の状況は消火に十分な水量だったのか。

答 現場周辺の水量は少なく、国道352号を止め本町から南本町までホースを延長して対応した。

問 消防士長のハラスメント報道を含め、ここ3年の間に80件以上の不祥事があるが、市長として職員管理が甘くはないか。どのように受け

止めているか。改善策は何か。

答 非常に重く受け止めている。再発防止に風通しの良い職場環境づくり、職員研修等に力を入れていく。また、市長として職員を守ることが使命だと思っている。

※火災見舞金要綱含めて、これら一連については、総務委員会にて今後報告を受け、調査をしていく。

小出郷総合体育館利用について

問 今後、全国大会的要素の考えはあるか。

答 要請があれば検討する。

問 2階へのエレベーター設置の検討はされているか。

答 現在は考えていないが、今後状況を見て検討する。

問 以前の福祉センターのロビーは、待合せやミーティング等に利用勝手がよかったが、市民が気軽に有意義に過ごせるスペースを検討すべきと考える。

答 生涯学習センターにその機能があり検討はしていない。



大平 恭児

国保滞納世帯への資格証交付をやめてはどうか



国民健康保険について

問 県内他市町村と比べ、滞納世帯に対して資格証交付の割合が高い状況にあり、困窮が進んでいる。資格証交付をやめるべきではないか。

答 交付は、滞納世帯の医療機関受診を制限するものではなく、被保険者との相談の機会を増やし納税相談を充実させるためのものである。本市は、個々の実情に応じ、柔軟に対応している。

問 国保税はきめ細かな減免の対応を行い、少しでも負担を軽くして納付が進む状況をつくるべきではないか。

答 低所得者軽減の制度や、未就学児の減免、産前産後保険料減額など負担軽減措置も年々充実してきているため、現在設けられている制度により対応したい。

会計年度任用職員について

問 大変厳しい生活状況にある会計年度任用職員の報酬引上げと正規職員と同等の手当を支給することは最低限必要であり、検討するべきではないか。

答 報酬の引上げは、正職員の給与改定に合わせて見直しを行っている。手当は、任期が1年で、正規職員と職責等が異なり画一的な取扱いは困難と認識しているが近隣市等の状況も踏まえ検討する。

就学援助について

問 低所得者世帯は経済的に厳しい家庭状況にある。学用品などの負担感が増すばかりだ。就学援助基準の拡充を行い、子どもたちが少しでも安心して学べる環境をつくるべきではないか。

答 国及び他市町村の動向を注視しながら適宜検討する。



富永三千敏

観光振興計画の進捗と 地域公共交通について問う



問 第2次観光振興計画の指標の把握と中間検証の進捗は。

答 ※1 モバイル空間統計調査により把握し、令和5年度の調査結果により検証する。

問 令和4年末策定の第2次観光振興計画において、観光は食や宿泊、交通、体験など多くの産業を巻き込んだ裾野の広い産業であり、地域経済を潤す「外貨獲得」の有効策として期待が寄せられると表現している。本計画の7つの基本施策の重要業績評価指標は把握しているか。中間検証の進捗はどうか。

答 これまででは年間観光来訪者数・宿泊者数は民間事業者等に委託している観光動向調査により把握しているが、その他の指標の多くはモバイル空間統計調査によるものであり、令和5年度末のモバイル空間統計調査の終了後に指標をとりまとめ中間検証する。令和6年から本格的な調査ができるようになる。

問 納税者である市内民間観光事業者と市有観光施設の両立をどのように考え、進めていくか。

答 両者は切磋琢磨し補完し合う関係であり、相乗効果を生み出していくことが地域振興になると考えている。

問 スクールバスの公共交通や2次交通としての利用について

答 スクールバスを公共交通や2次交通として利用している自治体もある。当市も進められないか。

答 交通事業者と協議し、関係省庁に確認しながら検討する。

※1 **モバイル空間統計調査** 携帯電話のネットワークの仕組みを使用して、いつ、誰が、どこからどこへ移動したかを把握することができる人口統計情報。
※2 **2次交通** 鉄道主要駅や空港等の交通拠点と目的の観光地を結ぶ交通アクセス。



桑原 郁夫

解体工事におけるアスベストについて問う



問 解体工事において頻繁に発生するアスベストの調査設計の追加工事金額に対し、行政はどのように考え改善してきたか。

答 頻繁に発生するアスベスト追加工事は、憂慮すべきことと考えている。今後天井裏や壁内部の見えないところ等を詳細に調査し、追加の出ないよう努める。解体工事にかかる予算計上については、発注後に大幅な増額変更とならないようにアスベストの事前調査を指示しているところであるが、令和6年度を見据え、前倒しで進めたところもあり調査の甘さがあった。今後は、急ぐことなく、さらに慎重に対応する。

問 過去3年間の解体工事で、衛生上支障のある物として、政令で定める物質は、アスベスト以外になかったか。

答 廃油等の特別管理産業廃棄物の処分を行った事例があった。

問 設計士及び行政担当者は、特定化学物質作業主任者やアスベスト診断士等の関連資格を取得しているか。

答 保有資格について、本市発注の設計士全員の資格は把握していないが、提出されている書類においても、資格を有する報告は受けていない。行政担当者も現在、資格を有していない。

問 資格は、2日間の講習で比較的簡単に取得できるが、取得の予定はないか。

答 今後、そういった資格を取ろうとする者が建築を担当する部署の職員として求められるケースも考えられるので取得について促していく。



渡辺 一美

魚沼市教育センターの再編を考えないか



問 加茂市では、適応指導教室を廃止して、新たな加茂市教育支援センター「やすらぎ」を開設した。小学校入学前から入学・進学・卒業後のフォローまで、切れ目のない支援を行っている。不登校や困り感を抱える子どもや保護者の相談体制を強化した。加茂市を参考に魚沼市でも子ども課、健康増進課との連携強化をし、教育センターの再編を考えないか。

答 本市でも幼児期から青年期までつながる支援体制として、子ども家庭総合支援拠点を設置し、関係各課や関係機関と連携し、総合的に支援を行っている。子どもたちや保護者の相談サポート体制を強化し、様々な相談に応じながら家庭訪問などのアウトリーチ型の取組も実施しており再編は考えていない。

高齢者住宅整備について

9月議会では公営住宅の高齢者住居整備を質問した。今回は高齢者福祉計画の次期計画に当たりどう考えているか問う。

問 現在の計画では、サービス付き高齢者向け住宅について、関係機関と協議をし民間事業者による増設について情報収集及び検討を行うとあるが、どのように情報収集し検討したか。

答 第9期介護保険事業計画策定の基礎資料とするため、市内における介護保険サービス事業所の新設、廃止または定員等の変更予定について事業者の意向把握調査を実施した。当該調査において、サービス付き高齢者向け住宅は、新設、増設等の意向を持つ事業所はなかった。

問 要介護3以上と要介護2以下の住居に対する計画は、別で計画する必要があるのではないか。ニーズ調査でどこまで把握しているか。

答 要介護3以上と要介護2以下とを分けたニーズ調査は実施していないが、次期計画策定にあたり、「在宅介護実態調査」と「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施し、地域の実情や課題についての基礎資料として把握及び活用をしている。

総務委員会報告



11月20日・12月11日に委員会を開催した。

1 審査事件

議案第101号〜105号

※原案可決するものと決定。

2 調査事件

- ① 魚沼ケーブルテレビ事業の廃止に関する加入者説明会の実施状況について
- ② 12月3日に発生した魚沼ケーブルテレビ停波事故について
- ③ 12月3日夕刻、雷による影響で魚沼ケーブルテレビ停波事故が発生し、利用者にも不都合を与えた報告を受け、質疑を行った。

問 今後雷に対応する設備の更新はあるか。

答 令和8年度末廃止予定の事業が費用対効果も含め調査する。

- ③ 高速道路インターチェンジ名称変更の進捗状況について
- ④ 南本町大規模火災の復旧状況について

復旧状況の説明を受け、質疑を行った。

問 当時の水利の状況とかも含め検証作業はどうか。

答 消防本部関連の質疑となるが検討中である。

※検証、復興も含め、今後総務委員会の調査事件として取り扱うこととした。

- ⑤ 特定空家の進捗状況について
- ⑥ 入広瀬小学校閉校後の利活用ワークショップ結果報告について
- ⑦ 事務処理誤り等の公表に関する要綱の制定について

職員による法令違反や不適切な事務処理等、懲戒処分について判断基準を設ける旨の説明を受け質疑した。

問 市民や関係者に不利益ある場合は公表しないとあるが具体的な事例は何か。

答 いろいろな要因が考えられるので具体的な事例の想定はできない。

- ⑧ 特定空家（大浦地内）の進捗状況について
- ⑨ 市有施設に係る需給契約（電気調達）について

市有施設の電気需給契約の今後について説明を受け、質疑した。

問 今回契約する仲介業者は他の自治体との契約実績はあるか。

答 近県も含め全国で約1000の自治体と契約している。

問 供給事業者が倒産した場合どうなるか。

答 供給先が仮に倒産した場合は契約先の仲介業者が、安価の供給事業者を探してくれる。事情により一時的に大手業者と最終保障電力を結ばなければならなくなったときは2割増しとなるのでその差額は契約の仲介業者が補填をする。

問 今現在の対象となる市有施設の電気料金の合計金額はどのくらいか。仲介業者による新電力との契約では料金ほどのくらいか。

答 電力量に応じた料金総額は40施設合計2億8,900万円ほどで新電力では700万円強の削減となる。

⑩ 原子力防災訓練及び弾道ミサイルを想定した住民避難訓練の実施報告について



11月16日・12月12日に委員会を開催した。

1 審査事件

議案第106号・108・109号
※原案可決すべきものと決定。

2 調査事件

① 魚沼市国民健康保険税の税率改定について

今後、2月定例会に条例改正と当初予算への計上を考えている。

② 北部地域におけるオンライン診療の検証実施について

新潟県の「へき地におけるオンライン診療モデル事業」に採択され実施することとなった。

問 実証実験は、初診の方も受けられるのか。

答 既に訪問診療や訪問看護が入っている方から始める。

③ 「魚沼市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」策定に係る進捗状況について

令和6年度から新しい計画期間を迎えるため策定委員会を設置し、現在計画を策定中である。

問 重点的に達成したいというポイント的なものは。

答 住み慣れた地域で生き生きと暮らしていけるような施策。介護事業所の人材不足を解消することも重点課題と認識している。

④ 「第6期障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画」策定に係る進捗状況について

令和6年度から新しい計画期間を迎えるため策定委員会を設置し、現在計画を策定中である。

⑤ 「養護老人ホーム南山荘」改築に係る市民説明会について

9月28日に地域振興センターにて市民説明会を開催した。南山荘の定員については、意見等を踏まえ40床から45床への変更をしたいと考えている。

⑥ 旧佐藤家住宅に係る土地及び建物寄附採納について

11月1日に魚沼市に所有権移転が完了。佐藤家住宅を管理事務所として活用する。

問 駐車場についてはどうか。

答 喫緊の課題として検討する。

⑦ 魚沼市立保育園等の民間移譲に関する調査について

公立園1園に対し1民間事業者から参加の申し込みがあり、11月1日に対話型調査を実施した。

問 個別の再編方針は、今年度末までにつくり上げるのか。

答 今年度末を予定している。

ついて

9月から10月にかけて関係者への聞き取りが行われた。その結果、書類が不送致になったということでも小出警察署から連絡があった。

⑨ 部活動地域移行の進捗状況

11月24日に部活動地域クラブ活動推進委員会があり、現在の取組、周知の状況について説明を受けた。

問 新1年生を対象とした学校説明会では、きちんと説明できるのか。

答 新入学生徒には、資料を用いて説明したいと考えている。

⑩ 税務課所管条例の改正について

例年12月に公表される税制改革大綱に基づいた市の税条例等の改正作業を進めることとしており、本年度はこのほか、督促手数料の廃止に伴う関係条例の整理と債権管理条例の2件を改正。

⑪ 障害者相談支援事業に係る消費税について

今現在、県内の市が厚労省に確認を取っているところ。その後の対応については今後検討する。

⑫ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告について

①から⑫について執行部から説明を受け、質疑を行った。

産業建設委員会報告



11月15日・12月13日に委員会を開催した。

1 審査事件

議案第107号

魚沼市総合案内及び物産販売施設条例の一部改正について

問 使用料が堀之内物産館は1㎡当たりが500円、深雪の里が1000円、守門特産品販売所が260円とあるが、この設定は何か基準があるか。
答 施設には設置時の建設費等を含めて設定をされたものと解している。堀之内物産館は現時点の建物の維持費から算定をし設定をさせてもらった。

問 深雪の里が1000円で、守門特産販売所が260円という設定の根拠は。
答 旧町村の考え方で今の条例になっており、現在のエネルギー高騰価格、他の施設の契約も踏まえて今度条例改正をさせていただきたい。

議案第110号

指定管理者の指定について（堀之内物産館）

問 この施設を管理するために新しく立ち上げた団体と聞いているが、問題ないのか。
答 この法人は物産館オープンに向けていろいろな準備を進めているところである。

問 既に登記が終わり、会社ができているか。
答 12月8日に登記は完了している。※いずれも原案可決すべきものと決定。

2 調査事件
① 市道上ノ原27号線他改良工事について

② 令和5年度産米高温被害対策緊急支援事業について

③ 農業用肥料等高騰対策支援事業（令和5年度当初予算事業）について
④ 令和5年度農産物渇水対策事業の実績について

⑤ 有機センターアームロール車の過積載について

⑥ 羽川荘解体撤去工事請負契約の変更について

⑦ 寿和温泉（ヘルス棟・プール棟）解体撤去工事について

⑧ 須原スキー場駐車場用地に係る調停事件の成立について

⑨ 薬師スキー場について

⑩ 立地適正化計画への防災指針追加に係る改定概要について

⑪ 公営住宅等再編整備計画（素案）について

⑫ スキー場の民営化進捗状況及び須原スキー場駐車場について

⑬ 商工会合併の進捗状況について
⑭ 令和4年度緊急経済対策事業の検証について

⑮ 農協合併について

⑯ ガス託送料金の減額改定について
⑰ 水の郷工業団地ガス製造所の気化器修繕について

これらについて、執行部から説明を受け、質疑を行った。

総合計画策定調査特別委員会報告

● 9月13日に総務委員会・14日に福祉文教委員会・15日に産業建設委員会後に各分科会を開催した。

1 調査事件

第三次魚沼市総合計画（仮称）の策定について執行部より説明を受

け、質疑を行った。

① 11月中旬に第二次総合計画と後期基本計画の総括を検討し、次回の分科会で協議することとした。

② 第三次魚沼市総合計画策定に向けた市民意識調査（アンケート）スケジュール案の確認について説明を受けた。

● 11月15日産業建設委員会・16日福祉文教委員会・20日総務委員会後に各分科会を開催した。

1 調査事件

執行部から市民意識調査（アンケート）について説明を受け、質疑を行った。

● 12月1日に総合計画策定調査特別委員会を開催した。

1 調査事件

各部会からの報告を受けた修正箇所について執行部より説明を受け、質疑を行った。

なお、詳細については市議会ホームページの会議録をご覧ください。

Voice

聞かせて！あなたの声

魚沼市小出郷文化会館 「友の会」 (フレンドリーメンバー)

× 市議会



地域で活躍する皆さんと、ざっくばらんに語り合うコーナーです。

第16回目は、魚沼市小出郷文化会館「友の会」の皆さんからお話を伺いました。

「友の会」とは

魚沼市小出郷文化会館の設立と同時に、住民参加型のホールを造りたいと、事業の宣伝や協力を行っている会です。公共ホールに「友の会」はどこにでもあります。自主独立の運営を続けているのが、小出郷文化会館の「友の会」です。

「友の会」活動報告

「友の会」会員年会費2,000円として、200人弱の会員、主力として活動する「フレンドリー」メンバー 16人で構成、2カ月に1回の広報誌を自主作成し、会員にお知らせしています。会員の中で、会の趣旨に賛同し運営に参加したいという有志（フレンドリー）を募りボランティアで活動しています。

「友の会」活動の楽しみは

文化会館イベントに対して、特典があるのが楽しみです。そして、会員同士で会報誌作成にあたり、コーヒーを飲みながらにぎやかな時間を楽しんでいます。

「友の会」が 目指すところ

住民の声を届け、文化会館の運営に協力し、地域文化を盛り上げることが目標です。そして、文化・芸術のすばらしさの紹介や若き芸術家の応援・育成などを目指しています。

課題は

高齢化が進む中で、会員数の減少が始まっています。「友の会」の趣旨に賛同いただき市民の皆さまから一人でも多くの会員を募りたいと考えています。



コーヒーサロン

市議会に一言

「魚沼市小出郷文化会館」の小出郷の名称は、絶対に残していただきたい。公立ホールは日本中どこにもあるが、自主独立の運営を続けているのが「友の会」です。全国的にも知られていることから、名称は現在のままでお願いしたい。



取材中の様子

取材しての感想

文化会館設立以来27年「友の会」は文化会館を支え盛り上げています。お話を聞きながら、その自信と満足感を得ながらも、住んで楽しい魚沼市であって欲しいと願う皆さんに感銘を受けながら、考えさせられることの多い取材でした。

11月17日 令和5年度 中学生議会を開催しました

中学生の視点で 市政に提言



昨年度から、市内各中学校3年生の代表12人が議員となり、10人が一般質問に登壇しました。中学生議会は、中学生が地方自治について学習する中で、市政や市議会をより身近に感じてもらう、政治への関心を高めることを目的に開催しており、今年で7回目となります。生徒の皆さんは、7月に行った事前授業を通じて夏休みから準備を始め、議会に臨みました。当日は、中学生ならではの視点で、魚沼市をより良くするための提言を市長や教育長に対して堂々と述べました。この体験が、郷土愛の醸成につながることを期待します。

魚沼北中学校 佐藤 優聖 議員
街灯の数と生活の影響について

問

守門・入広瀬地域には街灯が少なく人々の生活に大きな影響が出る。例えば、「冬などは早く暗くなり、下校中の小学生、中学生たちが危険であること」、「雪道の側溝に落ちる可能性があること」、「吹雪の中、人が歩いていても車の中からは見えないこと」などがある。この課題を解決するうえで、街灯は大切だと思う。街灯を設置することで、少しでも冬場の事故が減らせると思うがどう考えるか。

答

防犯灯の設置は、魚沼市全体で約5,500台となっております。市ではこれまでに多くの防犯灯を整備してきましたが、守門・入広瀬地域は集落と集落の間や家同士が少し離れていたり、田んぼの中を通る道もたくさんあることから、街灯が少ないと感じるかもしれません。暗い道でのリスク軽減に向けて街灯の増設は必要であることから、地域からの要望に基づき設置していきたいと考えています。

広神中学校 高山 桐依 議員
体育施設のエアコン設置について

問

今年の夏は高温が続いたが、学校の体育館も含め、市内の体育施設にはエアコンがない。部活動の夏の大会は勝ち進めば進むほど、夏季の活動を行うことになる。部活動が地域移行をしても、土日は日中の気温が高い時間での練習や、大会が行われる。地球温暖化の進行で、さらに高温になる日も考えられる現状で、市内体育施設へのエアコン設置についてどう考えるか。

答

エアコンの設置により、利用者の熱中症予防対策につながることは十分理解しています。しかし、体育館といった広い施設のエアコン設置は、エアコン本体の設置だけでなく、電源設備の入れ替えも必要となり、設置後の維持管理費を含めると多額の費用がかかってきます。そのため、既存の体育施設にエアコンを設置することは難しいですが、スポットクーラー等エアコンに代わる設備の設置について、検討しているところであります。

湯之谷中学校 本田 文哉 議員
若者が住みたくなくなる魅力ある魚沼市について

問

①部活数の減少や学校の統廃合が進んでいる中、今後の児童・生徒数ほどのようになっていくのか。
②若者が住みやすく、結婚してからの子育てがしやすいまちづくりのため市の取組についてどう考えるか。

答

①令和4年5月1日時点で、184人でありますが、出生数から推計すると、令和4年に生まれた赤ちゃんが小学校に入学する頃には、市内の小・中学生を合わせた人数が今よりも400人程度少なくなる見込みとなっております。
②働く場所や優秀な人材の確保対策として優良企業の市内への誘致や、市内に住み、市内の企業に就職した方に対して20万円を支給し奨学金の返済支援などの若い人たちが対象とした定住促進策を進めています。また、生涯を通して学びを充実させるため、新しい図書館の建設も進めています。

小出中学校 大平しずく議員 おおたいら

起業支援について

問

私は魚沼市の課題として、人口減少が最も大きな課題だと考える。若い世代が魚沼市外に流出していることが一因と考え、次について提案する。

- ① 魚沼市に大企業を誘致し、働く場所を確保すること。
- ② 郊外の古民家を活用し、ＩＴベンチャー企業などに貸与すること。
- ③ 本町の空店舗などをリノベーションし、起業のスタートアップの場所とすること。

答

① 若者が就職先を選択する際に求める要件は、人それぞれなので、将来の魚沼市を担う若者の選択肢を増やすために、大企業に限らず幅広い企業の誘致に取り組んでいるところです。

② 企業誘致の取組の中で、古民家を活用したいという企業があれば、物件を紹介するなどして有効活用につなげたいと考えています。

③ 商店街のにぎわいづくりにおける一つの重要なポイントであるとして認識しているので、空店舗を所有する人の意向を確認しながら、取り組んでいきたいと考えています。

堀之内中学校 大久保りりか議員 おおくほ

駅周辺の活性化について

問

進路を考えるようになって、公共交通機関を意識するようになった。周辺の地域では無人駅が多く、駅周辺も暗く不安に感じることがある。また、ＪＲ・路線バスともに運行本数が少ない状態である。魅力ある地域づくりをすることによって、生活する人はもちろん、観光客としても嬉しいと思う。市としては、具体的な対策があるか伺う。

答

一つ目は、地域公共交通の活性化及び再生のための地域における取組。二つ目は、商業者向けの販売促進や新規創業への支援の取組。三つ目は、ＪＲ小出駅が始発駅となる只見線に乗車する観光客の皆さんへの「おもてなし」の取組。引き続き、様々な観点から魚沼市を魅力ある地域としていくための取組を進めていきたいと考えています。

魚沼北中学校 湯本 康太議員 ゆもと こうた

商業施設と生活の不便さについて

問

魚沼市では、商業施設が特定の地域に集中しているという課題がある。それが原因でいくつかの問題が出ている。スーパーは近くにあるが、食料品や日用品が充実していないため、守門・入広瀬地域にも大きく充実した商業施設を建てて、人々が生活しやすくなるようにしてほしい。

答

守門・入広瀬地域で、高齢者が買い物に行くのが不便になっているという現実には、大きな課題であると認識しています。対策として、タクシー券の交付や、公共交通の整備により移動手段の確保を図っています。また、移動販売を行う事業者への支援などにより、商業施設が近くになくても、買物の不便さを軽減して、暮らしやすい地域への環境づくりを進めています。市が大型ショッピングセンターを建てることは、多くの制約や課題があるため実現は困難ですが、民間事業者が進出を計画する際には、側面的な支援策を検討するべきと考えます。

広神中学校 峰川ひかり議員 みねかわ

高齢者も住みやすい環境について

問

高齢化が進行している。老後の交通手段の確保についてどのように対応しているか。冬季も含めた、路線バスの安定運行や、移動販売など取り組む予定はあるか。

答

採算の厳しい市内を走る路線バスや乗合タクシー、コミュニティバスの運行に対して補助金を交付するなどして、事業継続を側面から支え、地域の足である公共交通の維持・確保に努めています。加えて、運転免許を返納された高齢者等には、タクシーなどで利用できる交通チケットを交付し高齢者の経済的負担の軽減に取り組んでいます。現在、市内では移動販売を行う事業者が複数存在していることから、市として移動販売を行う予定はありませんが、特に中山間地で事業を展開する移動販売事業者に対して支援を行うことなどにより、移動が困難な高齢者の地域生活を支えていきたいと考えます。

湯之谷中学校 瀧澤 飛茉 議員

高齢者も住みやすい環境について

問

核家族化の進行の中、高齢者だけの世帯や一人暮らしの高齢者世帯が増えているというが、魚沼市ではどれくらいあるのか。若い人が同居していれば問題にならないような高齢者だけの世帯特有の問題への魚沼市の取組についてどう考えるか。

答

令和5年3月末の数値で、市内世帯総数13,117世帯のうち、65歳以上の高齢者のみの世帯は3,754世帯で、そのうちの一人暮らし世帯は2,013世帯となっています。高齢者が住み慣れた地域で、自立して自分らしい暮らしができるよう、タクシーチケットの交付や、緊急通報装置の設置、週1回から2回の昼食の配食、自力で屋根雪除雪などができない世帯への除雪援助など、様々な生活支援の取組を実施していきます。

小出中学校 米山 奏瑠 議員

熊対策について

問

毎年熊が出没し、私が住んでいる伊米ヶ崎地区は頻繁に出没している。熊を厄介者扱いせず、共存することも必要と考える。そこで、次について提案する。

答

①魚沼には自然がたくさんあることから、郊外に熊が好むブナやドングリの木を植林すること。
②企業や大学と連携し、熊にGPSなどを付けて熊の生態を研究すること。

① 郊外や里山に植林を行ったとしても、郊外にエサとなる木が多くなると、逆に熊の生息域が人里に近くなってしまうおそれがあるため、熊のすみかや隠れ場所となる草むらや雑木の刈り取りなど里山の手入れが進む方策を考えていきます。
②本市や県内の自治体では、県主催の検討会議において、熊の生態や被害防止について情報を共有しています。既に専門家による調査が行われていることもあり、今のところ市単独でGPSなどを熊につける予定はありません。

堀之内中学校 大平 愛結 議員

部活動の地域移行について

問

①移行後は、夜間活動へ参加したくとも活動場所に通う交通手段がなかったり、保護者に頼らざるを得ない状況が予想される。住んでいる場所を問わず魚沼市の子どもたちが平等に活動に参加するために、どのような対策を考えているか。

答

②現在の部活動は、個々で目指したい方向性が違い、部活動を辞めたり、思うような活動ができない生徒がいる。部活動の地域移行を機に、魚沼市でも子どもたちが「魚沼市で活動できてよかった」と思えるような取組を考えているか。

①考慮すべき要素が多くなるので、生徒や保護者に不公平感を抱かれないようにするための支援策や、保護者同士で協力し合うシステムづくりなどを慎重に検討していきます。
②同じ種目でも、技術を高めて大会に挑戦する活動や、基礎からその種目にじっくり取り組む活動など、目的別に活動を分けたり、新たな部活動を作ったりすることなど、様々な取組に向けた検討を進めています。

緊張感が漂う議場で、堂々と議事進行をしてくださいました。議長役を努めたお二人からの感想です。

湯之谷中学校 金井 月華 議長

教えてくれることが詳しくかったり、優しくしてくれてスムーズに進めることができました。すごくいい経験になりました。

平賀 倅弥 議長

本物の議会を体験できておもしろかった。また、中学校の生徒総会との共通点やちがうところも発見できた。今回の経験を生かして今後の生活をより良いものにできたらいいなと思った。

参加いただいた皆さん、大変お疲れ様でした！

樋口教育長からの講評

代表議員の質問や意見には各学校の多くの友達のお考え方も反映されているように感じ、年々、その質が向上しているように受け止めました。皆さんが自分のふるさとである魚沼市を大切に思う心もたくさん伝わってきました。中学生議会の経験を生かし、これからの未来をつくっていく皆さんには問う力を磨いていって欲しいです。明確な答え、方法を答えられるというよりも多面的な視点からどのように考えるのか問い続けていく力が増々求められると思っています。皆さんがこれから進むそれぞれの道においても探求し続ける姿勢を持ちながら様々な実体験を通して自分の世界を広げてください。

先進地に学ぶ！行政視察報告

市の課題や先進地事例を調査するため、常任委員会で行行政視察を行いました。

総務委員会 11月8日～10日

① 岩手県紫波郡紫波町

●オガールプロジェクト（公民連携事業）について

② 宮城県気仙沼市

●「東日本大震災遺構・伝承館」震災伝承事業について、防災・減災の取組について

③ 福島県双葉郡浪江町

●水素でつながるまちづくりについて

東日本大震災の復興を
目指し浪江町が取り組ん
でいる水素タウン構想に
ついて学んできた。この
背景には、国が脱炭素社
会の実現のための新たな
資源として水素を位置付
けていることがある。



水素タウン説明風景

④ 福島県双葉郡双葉町

●「東日本大震災・原子力災害伝承館」防災意識の向上について

⑤ 福島県田村市

●移住定住・空き家対策について

移住者同士のつながりを育む移住者交流会、
中学生対象の「このまま住み続けたい」「また
戻ってきたい」と思えるまちづくりを考える
「次世代移住定住会議」や市の空き家相談窓口
と民間の住まいの専門組織の連携など移住定
住施策が豊富であった。

福祉文教委員会 11月7日～8日

① 群馬県富岡市

●デマンド型乗合タクシー「愛タク」について
6台のミニバンタイプの乗合タクシーを、
アプリや電話経由の予約に応じて最適な配車
をするというデマンド型のサービス。市内全域
に453の停留所が設定され、市民の満足度
も高い。

② 長野県茅野市

●A乗合オンデマンド交通「のらざあ」に
ついて

「市民の生活」、「通勤・通学」、「観光」の3
点に焦点をあて、「AI乗合オンデマンド交通」、
「通勤・通学路線バス」、「観光路線バス」を設
定し、利用対象者とエリアを明確化したうえで、
それぞれの交通サービスを切れ目なく繋ぐこと
で、利便性の高い交通網となっている。

③ 埼玉県上尾市

●おくやみ窓口について
おくやみに関して必要
な手続きを、一本化すれ
ば市民も職員も負担が少
なくなるのでは、という
声から、おくやみ窓口を
設置することになった。



おくやみ窓口説明風景

事前に配布される懇切丁寧で、わかりやすい「おくやみハンドブック」
は当市でも大いに活用できるものと思われた。

産業建設委員会 10月24日～26日

① 群馬県利根郡片品村

丸沼高原スキー場

●スキー場の活用について

② 栃木県小山市役所

●有機農業政策について
オーガニックビレッジ
宣言は、素晴らしい取組
であると思うが、農薬や
化学肥料を使用しない農
業は除草等に非常に困難に思われた。



丸沼高原スキー場

学校給食で有機農業を支える取組がされて
いたが、かなり高額な補助金であり、有機農
業による学校給食ができるかと言えば少しハ
ードルが高い。

③ 茨城県つくば市

●国立研究開発法人建築研究所ライフサイク
ルカーボンマイナスイナス住宅について

④ 埼玉県春日部市

●市営住宅政策について

借上げ型市営住宅は補助金の関係で20年と
期限が決まっている。ファミリー向け、高齢
者向けと入居者の層で分けて用途分けされて
おり利用しやすい環境だった。

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

⑤ 埼玉県春日部市

●首都圏外郭放水路河川における内水対策等
について

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

⑤ 埼玉県春日部市

●首都圏外郭放水路河川における内水対策等
について

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

⑤ 埼玉県春日部市

●首都圏外郭放水路河川における内水対策等
について

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

行政が造るのではなく、事業者が建築し行
政が借り上げるという発想が、魚沼市におけ
る、今後の住宅の在り方について参考になった。

皆さんからの声を大切に 令和5年度 第2回 市民の声を聞く会 ～ 議会報告会 ～

魚沼市議会では、開かれた議会を目指し市民の声を聞く会（議会報告会）を10月31日に「堀之内公民館」と「小平尾研修集会センター」の2会場で開催しました。今回の報告会では、9月定例会と令和4年度決算審査について報告をした後、参加者の皆さまと意見交換会を行いました。

いただいた貴重なご意見は、各担当委員会で協議し、今後の市政運営に反映していくよう取り組んでまいります。いただいたご意見の一部を紹介します。



生涯学習センターについて

- 何を事業とするのか。公民館事業と生涯学習はどこが違うのか。
- ワークショップを市民に広く聞く形で行ったのか。
- バスターミナルを整備して人を集める仕組みをつくってはどうか。



コミュニケーションの 取れる場について

- 「市民の声を聞く会」のような場を増やして欲しい。一人ひとりの声に耳を傾けられるダイバーシティをつくって欲しい。



町場への交通手段について

- 高齢者人口が増える中、町場への交通手段を検討して欲しい。



スクールバスの活用について

- 現在の条件から臨機応変に有効活用ができるような体制をつくって欲しい。



温水プールについて

- 議会として建設検討委員会をつくって欲しい。



部活動の地域移行について

- 各団体と学校、保護者、子どもを一同に集めた意見交換を行って欲しい。



赤土 酒井 浩さん

「市民の声」への投稿は、今回で二回目になります。前回は「議会の傍聴に行きませんか」という投げ掛けをさせていただきましたが、いかがでしたでしょうか。そういう私も中々議場まで遠く、傍聴には伺っておりません。しかし、議会の審議内容については「議事録」等により拝見させて頂いて頂いていますが、興味のないところは見出しだけで飛ばしてしまふなど、市政にもう少し積極的に関わり合う必要があるのではないかと、反省させられています。（読者の皆様はいかがですか）

私は長年単身赴任生活で魚沼の地を離れていたため、当地の現状等が良く分からず、ご迷惑をお掛けしていたのではと思います。退職後「区長」「行政改革推進会議委員」等沢山の経験をさせていただきました。

少しでも「お役に立ちたい」という思いでお引受けでしたが、様々な話を見聞きすることにより、市政の見方も違ってきたように思います。いま各種団体役員への成り手が居ないとの話を聞きますが、やってみると以外と面白いことも多く、自分磨きにも良いと思います。是非機会があったら経験することを勧めます。

最後にホームページ上での議会議事録の見せ方についてですが、議事録としては正しいかもしれませんが、市民に公表しているものであるならば、見てもらえる見やすい掲載方法を考えてはどうかでしょうか。細かい文字の羅列はないかと心配しています。見やすい議事録になることを期待し投稿いたします。



佐梨 目黒芳雄さん

今年の新語・流行語大賞には間に合わなかった「キックバック」。親からお使いを頼まれた子どもが駄賃として毎月の小遣いとは別にお釣りを貰いまいでいいから大切に使いなさい」と言われまして。この場合「あれ」の世界と構図が似ていますが、その筋「は合法だと判断することでしょう」。

さて、今年も市内各地で熊の出没がありました。しかし、根雪になるまでは油断できません。行政では被害防止のため、様々な広報活動を行っています。餌になる柿の実がまだ多く残っています。収穫が進まない原因として、高齢化、樹高が高い、利用予定なし、所有者不明などが考えられます。

そこで提案です。次年度は春先からの積極的な伐採の推奨や、青い実のうちの収穫、実が欲しい人とのマッチング等が思いつきます。町内で樹木の害虫駆除の希望者を募るように町内会と一緒に進めてみることも必要だと思えます。また、伐採費用などの補助金制度にも期待します。

「市民の声」の原稿を募集します

● 字数 3000 字程度
● 住所・氏名(匿名での掲載はできません)
魚沼市議会事務局
〒946-8601
魚沼市小出島 910 番地

「なごみCAFE」・「クラフトショップSmile」オープン

議会 TOPICS

12月21日、市議会定例会最終日の休憩時間を利用して、小出特別支援学校高等部の生徒さんによる『なごみCAFE』・『クラフトショップSmile』とかけはしさんから英字新聞で作ったエコバックの販売を本庁舎にオープンしていただきました。生徒さんたちの丁寧な対応は、心温まるひとときとなりました。

作業製品の販売では、さをり織のバックやストラップ等の小物類、廃油処理に便利な油吸い取りパック、お皿等が大好評でした。英字新聞は、どれも素敵で選ぶのに迷ってしまうほどでした。

生徒の皆さん、かけはしの皆さん、心温まる素敵な時間をありがとうございました。



あとがき

昨年は、将棋の藤井聡太氏の八冠達成、野球の大谷翔平氏の二刀流での MVP 達成、ボクシングの井上尚弥氏の2階級4団体統一と異次元の活躍が話題となりました。

そして、国も異次元の子育て支援を打ち出し、少子化に歯止めをかけるべく対策を打ち立てました。魚沼市も子育て日本一を目指し、子育て支援や人への投資に力を入れています。施策や支援は、活用して価値が出るものです。

今まで以上に市政に興味を持ち、施策や支援の活用をお願い申し上げます。産官民が一体となり、さらに住みよい魚沼市となるよう議会も努めてまいります。

(桑原郁夫)